2024年度　エコアクション21

環境経営活動レポート

令和5年10月～令和6年9月

株式会社トクビル

令和　7年　　4月　　3日　発行

環 境 経 営 方 針

基本理念

株式会社トクビルは、環境との調和を目指した事業開発への挑戦と、環境を大切にした日々の事業活動を通して、かけがえのない地球の自然環境を尊重し、豊かな暮らし、社会の実現に貢献します。

行動指針

1 環境管理の組織・運営体制を整備し、具体的な目的・目標を明確にし、当社のエコアクション21の継続的な改善に努めます。

2 法規制及びその他当社が同意したその他の要求事項を順守し、一層の環境保全に取り組んでまいります。

3 事業活動・製品及びサービスの環境と及ぼす影響を予測し、汚染の予防に努めてまいります。

4 地域環境活動への積極的支援とボランティア活動への参加により、社会に貢献してまいります。

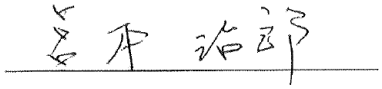
5 環境教育や社内広報活動を行い、従業員の環境方針への理解と環境意識向上を図ると共に、当社の事業に協力頂いている関係者に積極的に周知してまいります。

6 具体的には次のテーマを揚げ、取り組んでまいります。
① 現在ある構造物・構築物を活かす社会インフラの維持工事の提案・施工並びにこれら工事における資源効率の追求。
② エコドライブ等の実施による使用エネルギーの削減に努め、二酸化炭素の排出削減。及び水資源の使用量の削減。
③ 廃棄物のリサイクルを通じて、循環型社会の形成に貢献。
④ 改善提案活動の継続的な実施による車輌事故・クレームの発生防止に努め、生産性の向上を図る。

7 本方針は、外部から公開を要求された場合、速やかに開示いたします。

平成 29年 7月 1日 制 定
平成 30年 4月 5日 見直し
令和 6年 1月 1日 見直し

株 式 会 社 ト ク ビ ル



1. 事業の概要

(1) 名称及び代表者名
株式会社　トクビル
代表取締役　宮本　治郎

(2) 所在地
本　　社　山口県周南市大字栗屋50番地の11
関東支店　千葉県富津市大堀1006番地26

(3) 環境管理責任者及び担当者氏名並びに連絡先
環境管理責任者　安全管理Gr　田中　清　TEL 0834-36-3880　ﾒｰﾙ info@tokubiru.co.jp
副 環境管理責任者 環境事業部　中川　道晴　TEL 0834-36-3880　ﾒｰﾙ info@tokubiru.co.jp

(4) 事業内容
一般廃棄物・産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、リサイクル業並びに管路維持改修工事、
各種プラント維持工事及び農産物生産活動。

(5) 事業規模　　法人設立年月日　1966年2月　資本金　2,000万円

活動規模	単位	2024年度			2023年度			2022年度		
		本社	関東	計	本社	関東	計	本社	関東	計
生産高	t	537.5	──	537.5	387.9	──	387.9	436.6	──	436.6
売上高	百万円	734.3	682.8	1417.1	717.5	571.0	1288.5	770.0	419.0	1189.0
従業員	人	86	35	121	62	25	87	61	23	84
床面積	㎡	1472.5	245.1	1717.6	1472.5	245.1	1717.6	1472.5	245.1	1717.6
倉庫床面積	㎡	120.0	35.0	155.0	120.0	35.0	155.0	120.0	35.0	155.0
資機材置場面積	㎡	50.0	15.0	65.0	50.0	15.0	65.0	50.0	15.0	65.0
工事等の件数	件	294	122	416	278	94	372	321	521	842
廃棄物の収集運搬量	t	9502.2	──	9502.2	9587.4	──	9587.4	9980.5	──	9980.5
廃棄物の処理量	t	323.2	──	323.2	273.7	──	273.7	285.4	──	285.4
廃棄物排出量	t	4.5		4.5	7.2	3.3	10.5	9.3	9.1	18.4

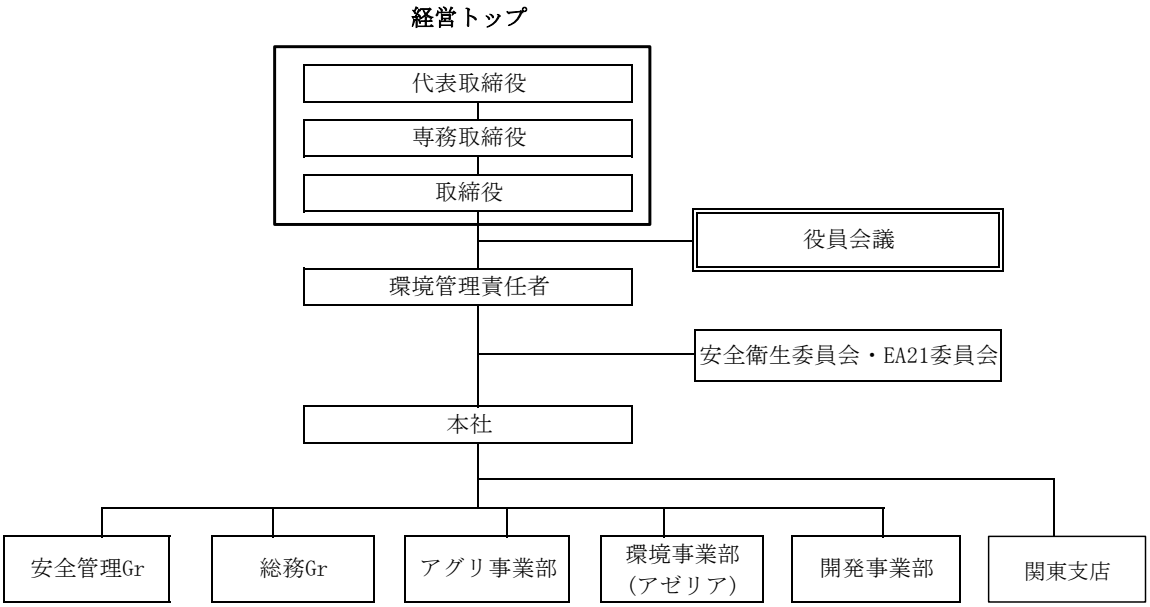
(6) 事業年度　10月～9月
(7) 廃棄物処理業の許可・建設業許可に関する事項　別紙1に示します。
(8) 施設の状況　別紙2に示します。
(9) 処理施設概略フロー図　別紙3に示します。
(10) 処理の実績　別紙4に示します。
(11) 廃棄物の処理費用　産業廃棄物の種類・数量・運搬距離等により異なりますので、お問い合わせをお願い致します。

認証・登録の対象範囲(組織・活動)

(1) 対象事業者名　　株式会社　トクビル
(2) 対象事業所　　本社・関東支店
(3) 対象事業活動　　一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業
一般廃棄物・産業廃棄物の中間処理業
リサイクル業（食品廃棄物の液体肥料化）
下水道管等の維持管理業務・改築修繕工事
各種プラント設備のメンテナンス業
農産物生産活動

2. 組織図及び認証・登録範囲（認証・登録範囲は以下の通り）

EA21 実 施 体 制



役割分担表

氏　名	所属(役職)	役割・責任・権限・使命
宮　本	代表取締役 (経営トップ)	全体の統括、環境方針の設定、全体の評価と見直し
枡　田	専務取締役 (経営トップ)	全体の把握/環境経営システムを構築し、運用し、その状況を代表取締役に報告する
小野・岩田	取締役 (経営トップ)	全体の把握/環境経営システムを構築し、運用し、その状況を報告する
小　野	役員会議	1ケ月に2回開催し、全体の評価と具体的な見直し策を検討・実施する。
田　中	安全衛生委員会 EA21委員会	1ケ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実施状況を審議する。
田　中	環境管理責任者 安全管理Gr	全社における環境管理活動を構築・維持・運用し、経営トップに報告する。
中　川	副環境管理責任者 環境事業部	環境管理責任者を補佐する。 環境事業部門におけるEA21の遂行を統括する。
梅　地	開発事業部	開発事業部門におけるEA21の遂行を統括する。
戸　倉	関東支店	関東支店におけるEA21の遂行を統括する。
岡　村	アグリ事業部	アグリ事業部門におけるEA21の遂行を統括する。
山　本	総務Gr	委員会の決定事項等を社内に周知し、EA21を着実に実施する。

3. 当年度及び中期環境経営目標及び当年度の実績

〈本社〉

環境目標			単位	2016年度基準年度実績	2023年度	2024年度 (R5.10～R6.9)					2025年度 (R6.10～R7.9)		2026年度 (R7.10～R8.9)	
					実績	削減率(%)	目標	実績	目標達成率%	判定	削減率(%)	目標	削減率(%)	目標
1	二酸化炭素排出量の削減		t-CO_2	1007.5	43.9	2%	43.1	47.7	90%	×	2%	46.7	2%	45.8
	1-1	電力使用量の削減	MWh	125.7	125.9	2%	123.4	116.0	106%	○	2%	113.7	2%	111.4
	1-2	ガソリン使用量の削減	kℓ	129.5	25.3	2%	24.8	26.9	92%	×	2%	26.4	2%	25.8
	1-3	軽油使用量の削減	kℓ	251.0	122.7	2%	120.2	137.6	87%	×	2%	134.8	2%	132.2
2	廃棄物総排出量の削減		ton	110.0	7.2	2%	7.1	4.5	156%	◎	2%	4.4	2%	4.3
3	総排水量(使用水量)の削減		m^3	1735.0	2519.0	2%	2468.6	2620.0	94%	×	2%	2567.6	2%	2516.2
5	製品・サービスに関する事項	クレーム発生件数の減少	件数	42	15	5%	14	18	79%	×	5%	17	5%	16
		事故(不具合)発生件数の減少	件数	38	24	5%	23	41	56%	×	5%	39	5%	37
		業務改善提案の提出	件数	22	22	目標件数	22	37	168%	◎	目標件数	40	目標件数	―
6	環境管理活動	未実施項目の実施	件数	4	4	目標件数	4	5	125%	◎	目標件数	2	目標件数	―
		地域貢献活動	件数	6	4	目標件数	6	4	67%	×	目標件数	5	目標件数	―

〈関東支店〉

環境目標			単位	2018年度基準年度実績	2023年度	2024年度 (R5.10～R6.9)					2025年度 (R6.10～R7.9)		2026年度 (R7.10～R8.9)	
					実績	削減率(%)	目標	実績	目標達成率%	判定	削減率(%)	目標	削減率(%)	目標
1	二酸化炭素排出量の削減		t-CO2	524.7	489.3	2%	479.5	528.0	91%	×	2%	517.4	2%	507.1
	1-1	電力使用量の削減	MWh	13.2	20.0	2%	19.6	19.6	100%	○	2%	19.2	2%	18.8
	1-2	ガソリン使用量の削減	kℓ	20.4	7.5	2%	7.4	9.1	81%	×	2%	8.9	2%	8.7
	1-3	軽油使用量の削減	kℓ	182.6	179.3	2%	175.7	196.5	89%	×	2%	192.6	2%	188.7
2	廃棄物総排出量の削減		ton	14.4	3.3	2%	3.2	8.9	36%	×	2%	8.7	2%	8.5
3	総排水量(使用水量)の削減		m^3	3698.8	1792.0	2%	1756.2	1422.2	123%	○	2%	1393.8	2%	1,365.9
4	製品・サービスに関する事項	クレーム発生件数の減少	件数	2	2	5%	2	2	95%	×	5%	2	5%	2
		事故(不具合)発生件数の減少	件数	22	8	5%	8	10	76%	×	5%	10	5%	9
		業務改善提案の提出	件数	12	8	目標件数	10	3	30%	×	目標件数	8	目標件数	-
5	環境管理活動	未実施項目の実施	件数	0	2	目標件数	1	5	500%	○	目標件数	2	目標件数	-
		地域貢献活動	件数	0	4	目標件数	4	3	75%	×	目標件数	3	目標件数	-

※　電力量の二酸化炭素の排出係数　本社　中国電力の2023年度排出係数0.511(kg-Co2/ｋＷｈ)を使用
　　関東　東京電力の2023年度排出係数0.408(kg-Co2/ｋＷｈ)を使用

※　目標達成率%は目標/実績

※　評価の基準:　９５%以下は未達とする。

4. 当年度の主要な環境経営活動計画

本社・関東支店

4-1 二酸化炭素総排出量の2%削減

取組目標		活動項目	
1	電力使用量の削減	1	エアコン設定温度を決め実行する
		2	残業時の不要な照明の消灯(ノー残業デーの設置)
		3	長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF
2	ガソリン使用量の削減	1	省エネドライブの励行
		2	アイドリングストップの励行
3	軽油使用量の削減	1	省エネドライブの励行
		2	アイドリングストップの励行
		3	運行・配車計画の合理化

4-2 廃棄物総排出量の2%削減

取組目標		活動項目	
1	ペーパーレス化、再生紙の使用	1	ペーパーレス化、再生紙の使用
2	不良品の削減	1	工程改善等による不良発生率の低減
3	再資源化	1	分別による再資源化(リサイクル)への取り組み

4-3 給排水量(使用水量)の2%削減

取組目標		活動項目	
1	節水活動　　上水	1	水を流しっぱなしにしない
1	節水活動　　地下水	1	水を流しっぱなしにしない

4-4 製品・サービスに関する事項

取組目標		活動項目	
1	クレーム発生件数の減少	1	外部利害関係者から受け付けたクレームについては、スピーディーに確認、対応し再発防止に努めると共にその記録をとる。発生した傾向を分類し、分析する。
2	事故発生件数の減少	1	車両事故等については、スピーディーに確認、対応し再発防止に努めると共にその記録をとる。発生した傾向を分類し、分析する。
3	業務改善提案の提出	1	改善箇所・改良点を見つけ出し、製品サービスの向上に取り組む

4-5 環境管理活動

取組目標		活動項目	
1	環境への取組の自己チェックリストから未実施の項目を新たに実施する。	1	別紙で管理
1	地域貢献活動	1	役員を中心とした地域活動(清掃活動)への参加

5. 環境経営活動計画の取組結果とその評価

◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

5-1 二酸化炭素総排出量の2%削減　　（目標達成率　　本社　　90% ・　関東支店　　91%）

取組目標		目標達成率%		活動項目		取組実施状況	
		本社	関東			本社	関東支店
1	電力使用量の削減	◎	○	1	エアコン設定温度を決め実行する	○	○
				2	残業時の不要な照明の消灯(ノー残業デーの設置)	○	○
				3	長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF	○	○
2	ガソリン使用量の削減	×	×	1	省エネドライブの励行	△	△
				2	アイドリングストップの励行	×	×
3	軽油使用量の削減	×	×	1	省エネドライブの励行	△	△
				2	アイドリングストップの励行	×	△
				3	運行・配車計画の合理化	△	△

評価（結果と次年度の取組内容）

【本社】

電力：目標達成率106%。全社員が不要な電気使用を抑制する意識付けがあったと思われます。
新規中間処分場の電気使用量が増える可能性がありますが、今後も不要な電気使用の抑制を継続していきます。

ガソリン・軽油：開発事業部の売上高が増加したことで、作業での車輌稼働率が上がり、ガソリン・軽油の使用量が増えた事が原因と考えます。省エネドライブの励行、アイドリングストップの励行、運行・配車計画の合理化で出来ることを行い減少に心がけます。

【関東支店】

電力使用量に関しては、本社同様、不要な電気を抑制できていたかと思われます。
ガソリン、軽油の使用量の増加に伴い、二酸化炭素削減量を抑制できませんでした。
運行ルートの見直し、無駄を省いた配車計画にて次年度の減少に向けて取り組んでいきます。

5-2 廃棄物総排出量の2%削減　　（目標達成率　　本社　　156% ・　関東支店　　36%）

取組目標		活動項目		取組実施状況	
				本社	関東支店
1	ペーパーレス化、再生紙の使用	1	ペーパーレス化、再生紙の使用	○	△
2	不良品の削減	1	工程改善等による不良発生率の低減	○	×
3	再資源化	1	分別による再資源化(リサイクル)への取り組み	◎	△

評価（結果と次年度の取組内容）

【本社】

廃棄物の分別による再資源化(リサイクル)の努めました。
次年度も、分別意識の向上と再資源化(リサイクル)を進めいきます。

【関東支店】

現場使用のホース(廃プラスチック類)の廃棄増に伴い、排出量が増加してしまいました。
梱包材の段ボールの増加もあり、大幅に未達となった原因としてあげられます。
梱包材の再利用、ペーパーレスの取り組みに力を入れ、再資源化の取り組みを強化していきます。

5-3 給排水量(使用水量)の2%削減　　(目標達成率　　本社　　94% ・　関東支店　　123%)

取組目標		活動項目		取組実施状況	
				本社	関東支店
1	節水活動　　上水	1	水を流しっぱなしにしない	×	◎
1	節水活動　　地下水	1	水を流しっぱなしにしない	○	○

評価（結果と次年度の取組内容）

【本社】

上水の使用量が前年比より増加していました。従業員が増えたことが影響していたと考えられます。
水を流しっぱなしにしないよう無駄な使用を抑制します。

【関東支店】

洗車頻度の減少、節水意識が高くなったことが削減に繋がったと考えられます。
次年度も継続して節水を心がけていきます。

5-4 化学物質使用量削減　(維持管理活動)　※　PRTR対象外

取組目標		活動項目		取組実施状況	
				本社	関東支店
1	適正使用	1	塗料・接着剤の使用の有無を確認する。	○	
1	適正に周知	1	SDSを取り寄せ使用上の注意事項を守る。	○	

評価（結果と次年度の取組内容）

【本社】

化学物質製品の取扱いに関して、従業員の安全を重視した勉強会を実施しました。

5-5 グリーン購入の推進　　(維持管理活動)

取組目標		活動項目		取組実施状況	
				本社	関東支店
1	紙・文具等の購入	1	使用紙・文具・資材等の購入についてはグリーン購入法適合品を優先する。	○	○

評価（結果と次年度の取組内容）

【本社】

総務Grを中心に取組みを継続しています。

【関東支店】

購入する際は対象商品を優先して購入し、継続して取り組んでいきます。

5-6 製品・サービスに関する事項

取組目標		活動項目		取組実施状況	
				本社	関東支店
1	クレーム発生件数の減少	1	外部利害関係者から受け付けたクレームについては、スピーディーに確認、対応し再発防止に努めると共にその記録をとる。発生した傾向を分類し、分析する。	×	×
2	事故発生件数の減少	1	車両事故等については、スピーディーに確認、対応し再発防止に努めると共にその記録をとる。発生した傾向を分類し、分析する。	×	×
3	改善提案の提出	1	改善箇所・改良点を見つけ出し、製品サービスの向上に取り組む	○	×

評価（結果と次年度の取組内容）

【本社】

発生したクレーム・事故の原因の追究と再発防止に積極的に取組みました。

次年度は、過去3カ年のクレーム・事故の傾向を分析して、クレーム・事故の件数が1件でも減少できるよう積極的に取組みます。

【関東支店】

クレーム、事故が多発し、減少に至りませんでした。減少させる取り組みとして再発防止対策書を作成し、原因の追究、皆に周知し、同じ事故を二度と起こさない取り組みを行いました。

次年度からは更に、皆の無事故への意識向上とともに、件数の減少に努めていきます。

5-7 環境管理活動

取組目標		目標達成率%		活動項目		取組実施状況	
		本社	関東			本社	関東支店
1	環境への取組の自己チェックリストから未実施の項目を新たに実施する。	○	○	1	別紙で管理	○	○
2	地域貢献活動	○	×	2	役員を中心とした地域活動への参加	○	△

評価（結果と次年度の取組内容）

【本社】

地域貢献活動：年4回、役員を中心に地域清掃活動(遠石八幡宮境内)への積極的な参加しました。

事務所に隣接する歩道の清掃、草抜きを行いました。

【関東支店】

地域貢献活動：会社前道路脇の除草作業、駅前のゴミ拾い、神社境内のゴミ拾いに積極的に取り組みました。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規制(廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化に関する法律、食品リサイクル法、騒音規制法、悪臭防止法)の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、違反、訴訟等も過去3年間はありませんでした。

7. 代表者による全体の評価と見直し

環境経営システムが有効に機能しています。また、環境活動の取組も適切に実施されていました。しかし、一喜一憂せず、現在の環境経営システムおよび環境活動の取組を見直し、実施することをお願いします。

従業員の安心・安全な業務で、従業員一人一人が幸せな生活を営める会社風土を確立していきましょう。

8. 環境活動の紹介

〈地域貢献活動の実施状況〉

本社では、年4回、役員を中心に地域清掃活動(遠石八幡宮境内)への積極的な参加しました。